

# 備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

【お問い合わせ先】  
淡路県民局洲本土木事務所 企画調整担当へ  
〒656-0021  
洲本市塩屋2丁目4-5  
TEL: 0799-26-2055 FAX: 0799-24-4513  
URL: http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html  
e-mail: sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

発行: 平成29(2017)年6月30日

2017

vol.43

## マップ① 二級河川 相原川隧道改修工事が完成しました。

そうはらがわすいどう

相原川は、洲本市五色町鮎原地区を流れる二級河川であり、沿川は主に農地ですが、最下流付近は公共施設や民家が立地しており、トンネル形式の相原川隧道により都志川と合流していました。

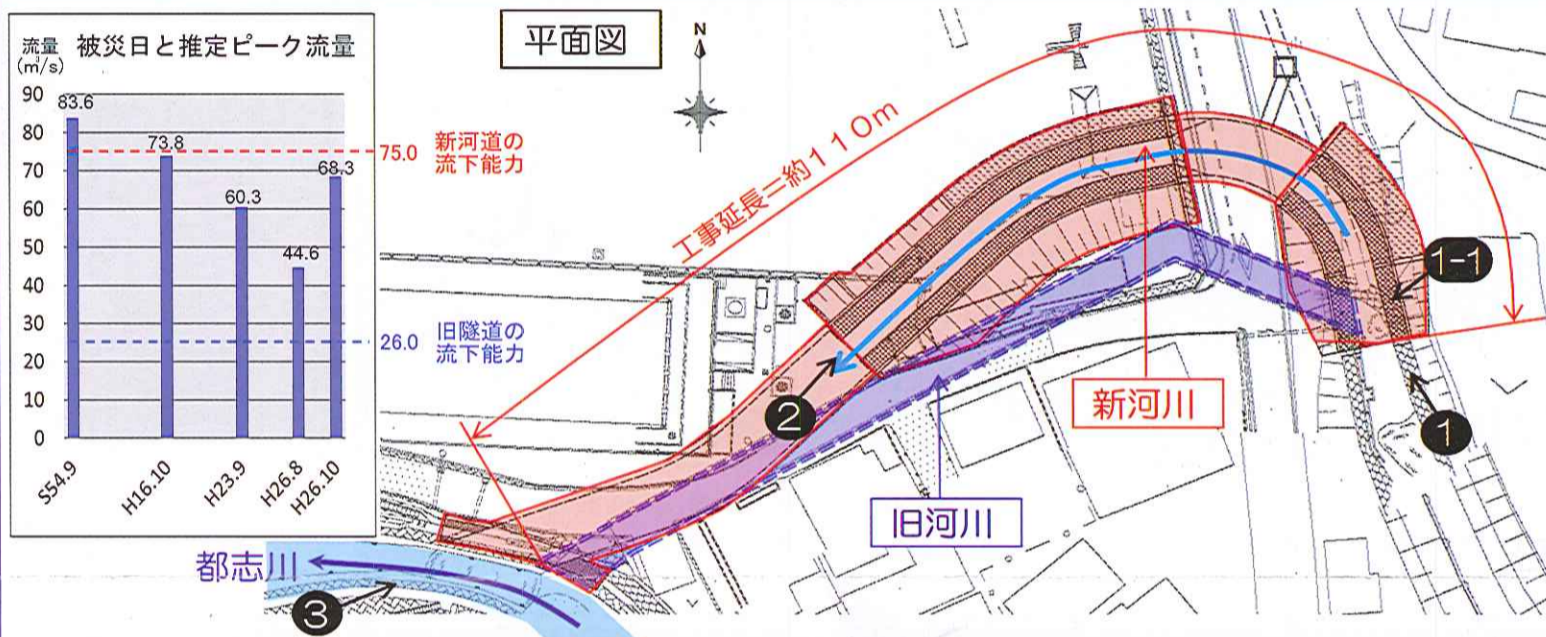
相原川隧道は断面が狭小かつ線形不良のため、過去から洪水時、隧道に入りきらない河水が、小学校校庭や神社境内に流れ込み、浸水被害を発生させていました。特に平成26年には8月と10月の2度に渡り浸水し、児童が校庭や遊具を使用できない状況になったため、学校や地域の方から河川改修の強い要望が寄せられました。

この被害を踏まえ、県は隧道部分の河川改修計画を立案。学校や地元関係者への説明を経て、平成28年4月より改修工事に着手しました。工事中、校庭の一部が使用できなくなるなか、学校側の協力も得ながら、この度、平成29年5月に完成の運びとなりました。この完成を記念し5月26日には、洲本市と共催で完成式典を開催しました。

式典のなかで「事業着手から3年弱という驚異的なスピードで完成できたことは地元の皆さんの熱意や協力のおかげ。地域との連携ということからも、モデルケースになる事業」と吉村淡路県民局長から挨拶がありました。

工事の完成により、隧道の流下能力は従前の約3倍の流量(75m<sup>3</sup>/s)を安全に流すことが可能となりました。平成16年の台風23号や平成26年の豪雨でも安全に流下させることが可能になります。

工事期間中の平成28年10月6日には、5年生を対象に、工事の目的や概要、効果などを説明し、洪水の恐ろしさと治水工事の重要性を伝える出前講座を行ったほか、全校生徒を対象にした現地見学会も開催しました。(淡路さわやか県土 Vol.40号に掲載)

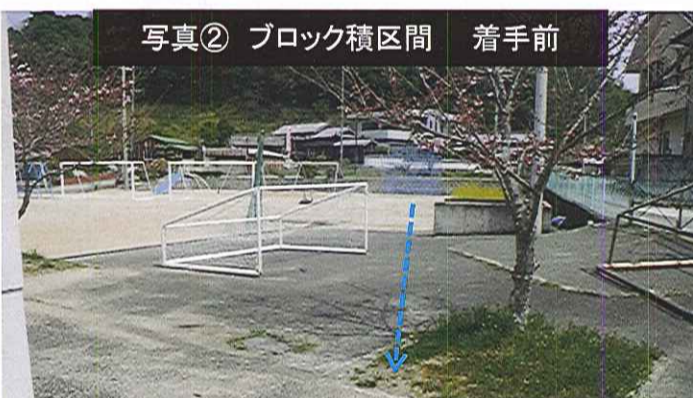
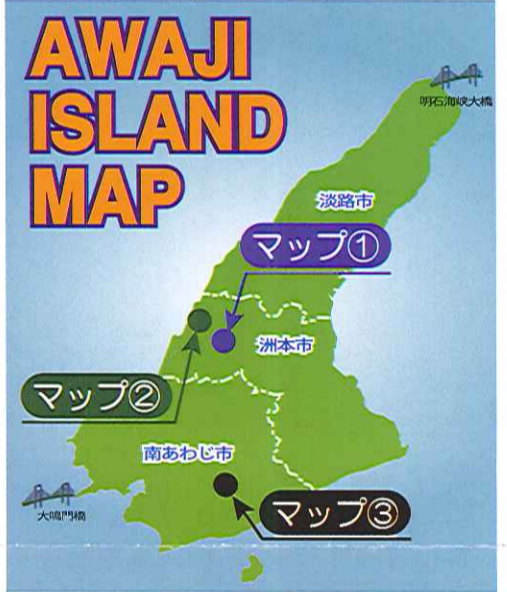


今年も、平年と同じ6月7日頃に梅雨入りしました。梅雨明けも平年と同じ7月21日頃になりそうです。これから(6月下旬)7月中旬にかけて、梅雨時期の降雨が続くそうです。梅雨時期の降雨は、近年予期せぬゲリラ豪雨となることが多いので充分注意して下さい。また、気象庁の予報では今年の8月は、猛暑日(35度以上)となるようなので、熱中症にかからないよう、こまめな水分補給等に心がけて下さい。



兵庫県マスコット はぼたん

『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。



## 平成28年5月26日(金)に鮎原小学校正門付近で「相原川隧道改修工事 竣工式典」が開催されました。



相原川隧道工事の完成を記念してテープカット



昨年度(H28.10.6)の出前講座を受けた生徒(当時5年生、現在6年生)を代表して、工事完成の感謝の言葉



鮎原小学校の児童による「記念植樹」(梅苗木5本)



## マップ② 「淡路さわやか県民局」出前講座(第1回緑花学習教室)を紹介します。

「淡路さわやか県民局」とは、県民のみなさんの目線に立った身近で分かりやすい県政を参画と協働のもとで進めるため、淡路県民局等の職員が講師として、みなさんのご希望の場所に出向いて、県政などをご説明する出前講座です。ご希望の出前講座は、「淡路さわやか県民局」メニュー一覧<sup>(1)</sup>の中から選んで下さい。一覧の中から今回紹介するのは、講座名:「緑花学習教室“公園島をめざして”」、内容:土づくり、種まき、水やりの仕方・コツなど、楽しい作業を通じての緑花学習です。この出前講座は、年10回(先着順<sup>(2)</sup>)を予定しており、今回が1回目となります。日時:平成29年5月25日(木)、場所:五色中央公民館、花植の場所:公民館駐車場花壇及びプランター14基等、対象:五色すこやか子育てセンターの2・3歳児とその保護者、目的:幼児期に草花に触れ合う機会を設け、生き物に対する慈愛の心を育ててもらい、植物に親しみを持ってもらう。出前講座の講師は、(公財)兵庫県園芸・公園協会の「緑のパトロール隊員」にお願いし、日頃の緑花活動で養ったノウハウや育てる楽しさを伝えていただきました。この取り組みを通じて、環境に配慮した淡路らしい緑花の推進に繋がることを期待しております。



緑花教室の講師から、花の植え方を説明する。



プランターに仲良く花手鞠を植える幼児と保護者。



歩道沿いの花壇にポーチュラカを植える。



中央公民館前の花壇にルリマツリを植える幼児と保護者。



プランターに植えた花手鞠に水やりをする幼児達。



「第1回緑花学習教室」に参加された方々。

(1):メニュー一覧 ..... [淡路さわやか県民局](#)

URL: <https://web.pref.hyogo.lg.jp/awk01/documents/sawayakakennminnkyoku.pdf>

QRコード

(2):先着順 ..... 申込順に受け付けています。今年は既に10以上の申込がありますので、申込は終了とさせていただきます。

問い合わせ先:兵庫県 淡路県民局 洲本土木事務所 まちづくり建築課 ☎:0799-26-3247 FAX:0799-24-4513



## 「淡路島百景」の内、詠まれていない49景を題材にした俳句を募集します。

淡路県民局では淡路島景観づくり運動の一環として、より多くの人に景観に対する関心を持っていただくため、淡路島の景観を代表する「淡路島百景」を平成25年に一般投票より選定しました。地域の人々の生活や文化によって守り育まれてきた「淡路島百景」は、大切な財産として将来へ継承する必要があります。また、今後の地域づくりや地域の活性化に繋げていく上でも重要なものです。そこで情景はもとより、人や歴史・文化との深いかかわりなど「淡路島百景」の魅力を紹介する冊子「俳句で詠む淡路島百景」(平成27年3月)を発刊し、百景のうち51の景観について俳句が詠まれました。

そこで、今回は残る49の景観について、新たな冊子「続・俳句で詠む淡路島百景」を刊行するにあたり、皆様からその景観にふさわしい俳句を募集させていただきます。

募集要項及び質問等につきましては、下記のホームページ及び問い合わせ先に連絡願います。

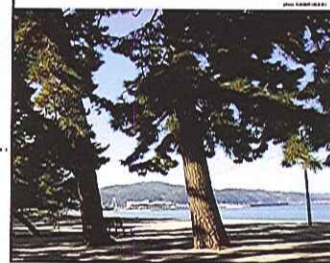
・ホームページ: [淡路島百景俳句](#)  [https://web.pref.hyogo.lg.jp/awk11/awaji100k\\_zoku\\_haikubosyu.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/awk11/awaji100k_zoku_haikubosyu.html)

QRコード

・問い合わせ先:兵庫県 淡路県民局 洲本土木事務所 まちづくり建築課 ☎:0799-26-3247 FAX:0799-24-4513

続・俳句で詠む  
淡路島百景

発行時期:平成29年9月30日(木)  
発行所:「淡路島百景」の刊行を機に設立された俳句協会  
〒658-8501 兵庫県淡路市洲本1-1-1 洲本土木事務所 3階  
TEL:0799-26-3247 FAX:0799-24-4513  
E-mail:awajihaijuku@awajipref.hyogo.lg.jp



## マップ③ 今年も成相ダム上流のホタル橋周辺で、観蛍会が開催されました。

三原中学校理科部は、毎年6月に「観蛍会」を開催しています。今年も6月12日に開催されました。三原中学校理科部は、1971年(昭和46年)から「ホタルの名所復活」を目指しての人工飼育と幼虫放流を中心に活動を始め、今年で46年目を迎えています。昨年度も、丹精込めて育てた約1,000匹の幼虫を諭鶴羽ダム(本体着工/完成年:1971/1975年)上流部の蛍水路(洲本土木事務所施工)と、成相ダム(本体着工/完成年:1996/2000年)の上流部のホタル橋周辺に放流しています。その地道な活動のおかげで、毎年5月下旬から6月中旬の間、諭鶴羽ダム、成相ダム上流で幻想的な蛍の乱舞を見ることができます。今年も、ハマコーラスのミニコンサートの美しい歌声と、可憐な蛍の光とのコラボレーションを楽しむことができました。



三原中学校理科部の生徒達、昨年は男子のみでしたが、今年は女子が3人入部...良かったですね。



昨年度50周年を迎えた島内の女声合唱団「ハマコーラス」の皆さんによるミニコンサート



蛍が乱舞するイメージ



# 備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

【お問い合わせ先】  
淡路県民局洲本土木事務所 企画調整担当へ  
〒656-0021  
洲本市塩屋2丁目4-5  
TEL: 0799-26-2055 FAX: 0799-24-4513  
URL: <http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html>  
e-mail: [sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp](mailto:sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp)

発行:平成29(2017)年10月5日

2017

vol.44

## 交通の円滑化・安全性確保に向けた道路整備の推進

### マップ① (主) 洲本五色線 上加茂バイパス道路改築事業を紹介します。

#### ■事業目的

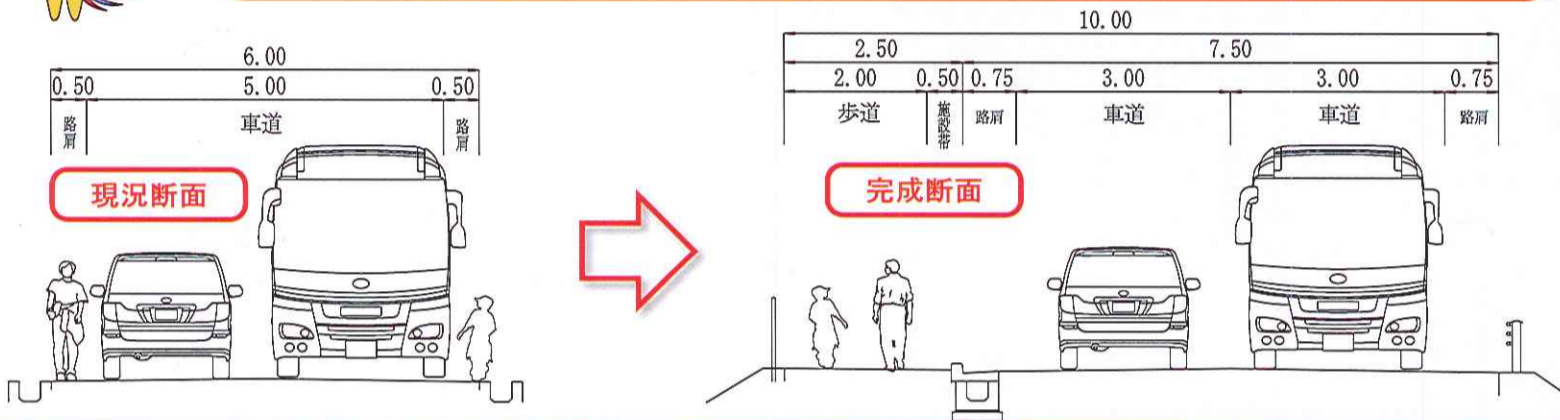
本路線は淡路島のほぼ中央に位置し、洲本市中心市街地と旧五色町を結ぶ東西の幹線道路です。このうち洲本市上加茂地区～三木田地区の現道は幅員が狭く、急カーブで線形が悪いため、渋滞が発生したり、中学校・高等学校の通学路にもなっていますが、歩道がないため、自転車や歩行者が危険な状態にあります。

また、淡路島中央スマートインターチェンジへの主要アクセス道路となること、国道28号線の異常気象時の迂回路となること、非常時の緊急輸送道路であること等から、円滑な交通の確保とともに、通学路としての安全を確保し、洲本市中心市街地～淡路島中央スマートインターチェンジ・旧五色町のアクセス道路として、地域の活性化を図るため、平成19年度からバイパス道路の整備を開始し、平成26年3月に三木田バイパスが供用開始しました。

引き続き平成26年度から上加茂バイパス道路の整備を開始し、現在平成30年3月の供用開始を目標に工事を進めています。



現況道路は車のすれ違いすら大変!歩行者も安全に通行できません!  
上加茂バイパスが完成すれば広い道路ですれ違いも安全!歩道を安全に通行できます!



今年、例年に比べ大きな台風等による被害もなく秋を向かえています。10月に来る台風は、平成16年10月20日に来襲した台風23号のように秋雨前線と連動して大雨を降らせることがあるので要注意です。季節の変わり目ですが風邪など引かないようにね!



『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。



写真-③  
四輪電動カート等が前を走ると渋滞が発生!

写真-②  
幅員が狭いため自動車のすれ違いが危険!

写真-①  
歩道がないため自転車等の通学が危険!

異常気象時  
通行止区間

① 洲本市市街地  
② 洲本市安平町  
③ 洲本市中川原町厚浜区間  
④ 淡路市塩屋区間

異常気象時とは、連続雨量160mm以上のこと

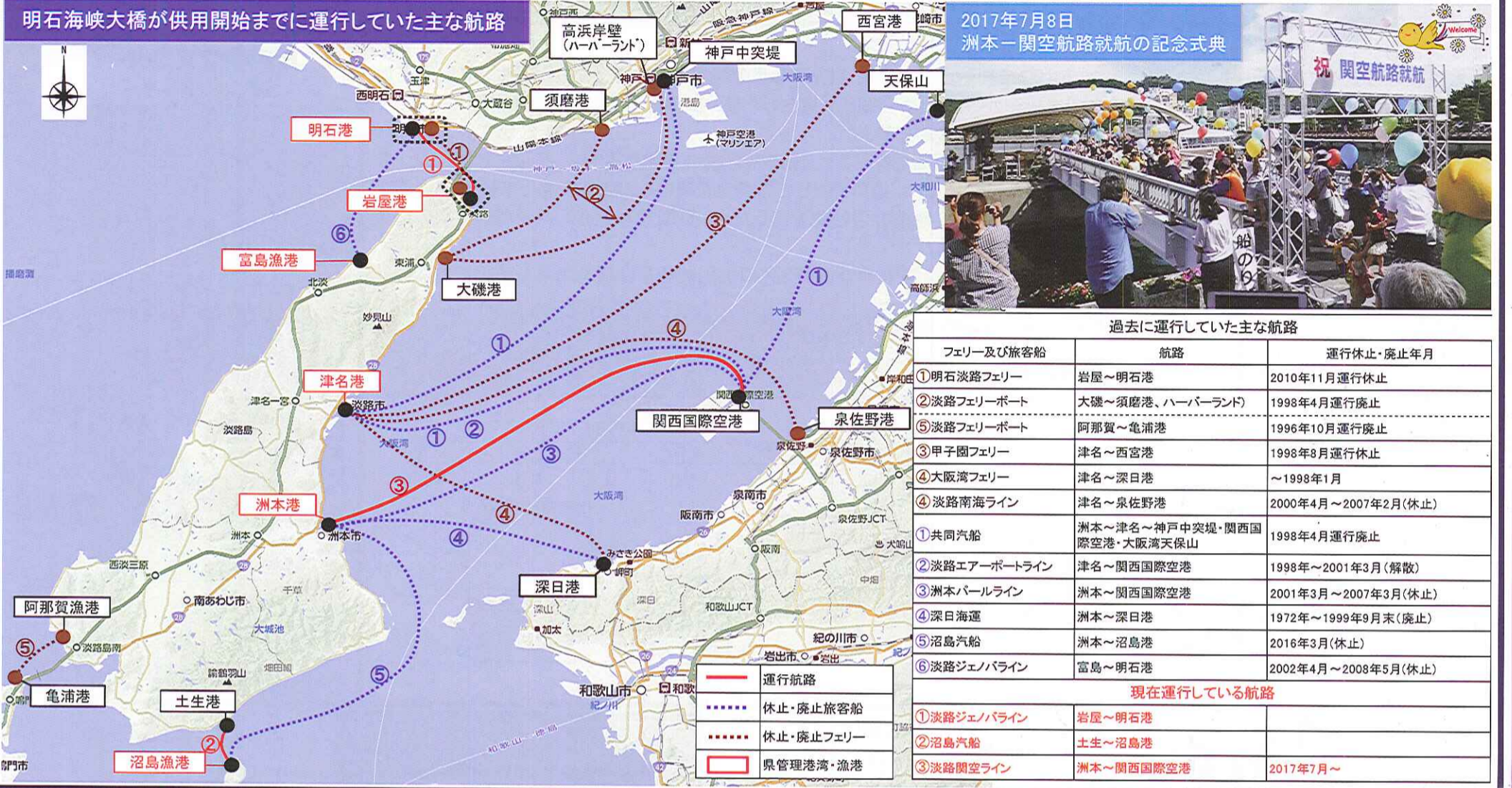
路線	番号	名称
国道	28	国道28号
主要地方道	46	(主) 洲本五色線
市道	474	(一) 下内膳物部線
一般県道	125	(一) 洲本松帆線
	465	(一) 多賀洲本線
	469	(一) 上内膳塩尾線
	473	(一) 広田洲本線
	481	(一) 相川下清水線



## マップ② 県管理港湾の利活用の推進 洲本⇄関西空路復活による洲本港の利活用の促進

淡路島は、兵庫県の管理する地方港湾25港の内、15港を管理しています。その内、航路の発着港として利用されていたのは主に洲本港・津名港・岩屋港、漁港では沼島漁港・富島漁港でした。四国と本州を結ぶ「神戸・鳴門ルート」に架かる大鳴門橋(1985年6月)及び明石海峡大橋(1998年4月)が供用開始するまでは、本州、四国に渡る旅客船、フェリーが多く運行(下図参照)していましたが、利用者の大幅な減少による経営不振で、大半の航路は休止・廃止となり平成28年春には、淡路ジェノバライン(岩屋～明石港)と沼島汽船(土生～沼島港)の航路のみとなり、航路の発着港として利用されているのは、岩屋港と沼島漁港となりました。

このような状況下ですが、近年、LCC(格安航空会社)を利用した関西国際空港からの訪日外国人の増加、及び2020年東京オリンピック開催を契機として、淡路島や四国への利用者が見込めることから、この度、平成29年7月、(株)淡路関空ラインが、洲本-関西空路を再開することになりました。これにより、下図に示す3航路(①~③)が現在運行しています。この度の洲本-関西空路を再開により、洲本港の利活用の促進が図られましたが、津名港をはじめ淡路交流の翼港他、地域の活性化につなげられるよう既存港湾の利活用の促進を図ります。



## マップ③ 「洲本川レガッタ2017」が洲本橋～洲浜橋間で9月10日に開催されました。

洲本川レガッタは、平成16年10月20日に淡路島を襲った台風23号により甚大なる被害を受けた洲本川流域の河川改修工事が完了した平成23年度より開催し、今年で7回目を迎えました。洲本川レガッタは、ボート競技の面白さや魅力を広めるとともに、台風23号災害を風化させない取組みとして行われており、大会本部が設営された「すもと橋詰広場」には、洲本川河川改修の工事経緯説明パネル等が設置されています。レガッタ競技大会は、洲浜橋～洲本橋間で行われ、洲本市内の3高校のボート部、及びボート部OBの方や一般参加の方々などによりレースが繰り広げられました。第2回開催から一般参加を募集し、その当時の20チームから回を重ねるたびに参加チームは増え今年約3倍の56チームの参加がありました。洲本川レガッタはこれからも市民スポーツとして洲本の風物イベントとして定着していくよう期待しています。



## マップ④ 「南海トラフ巨大地震対策」地域防災力向上の取り組みを推進します。

「地域防災力向上の取り組み」として、2010年9月に福良港津波防災ステーションが完成し、その1周年記念として2011年9月に「津波防災フォーラム」を開催している毎年、南海トラフ巨大地震による想定津波高が県内最大となる福良地区で開催されています。今年も第7回目の「津波防災フォーラム2017」が、9月3日に福良公民館で開催されました。フォーラムの内容は、①語り部シンポジウム:東北から来た語り部(南三陸ホテル観洋 伊藤氏)さんから東日本大震災について生の声を聞く(中学生以上向け)、②防災ポシェットをつくろう(おいしい防災塾):お菓子をいっぱい詰めて自分だけの防災ポシェットを作る。(小学生以下向け)、③防災劇(兵庫県立大学、県立舞子高校):大学生や高校生らによる臨場感あふれる劇を観て、地震や津波などの災害からどのように身を守るのか考える。④防災パーク(兵庫県立大学、県立舞子高校):身近なものを使った防災グッズ作成体験会や、水や食料が不足していても調理可能な防災食の調理・試食会、防災にまつわるクイズ大会が行われました。

これからも「津波防災フォーラム」等を継続することで、地域防災力の向上を図り、「津波災害からの死者ゼロ」を目指していきたいと思います。





# 備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

【お問い合わせ先】  
淡路県民局洲本土木事務所 企画調整担当へ  
〒656-0021  
洲本市塩屋2丁目4-5  
TEL: 0799-26-2055 FAX: 0799-24-4513  
URL: <http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html>  
e-mail: [sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp](mailto:sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp)

発行: 平成29(2017)年12月25日

2017

vol.45

## ■防災機能の強化、自然環境の保全・創造を図る海岸整備の推進

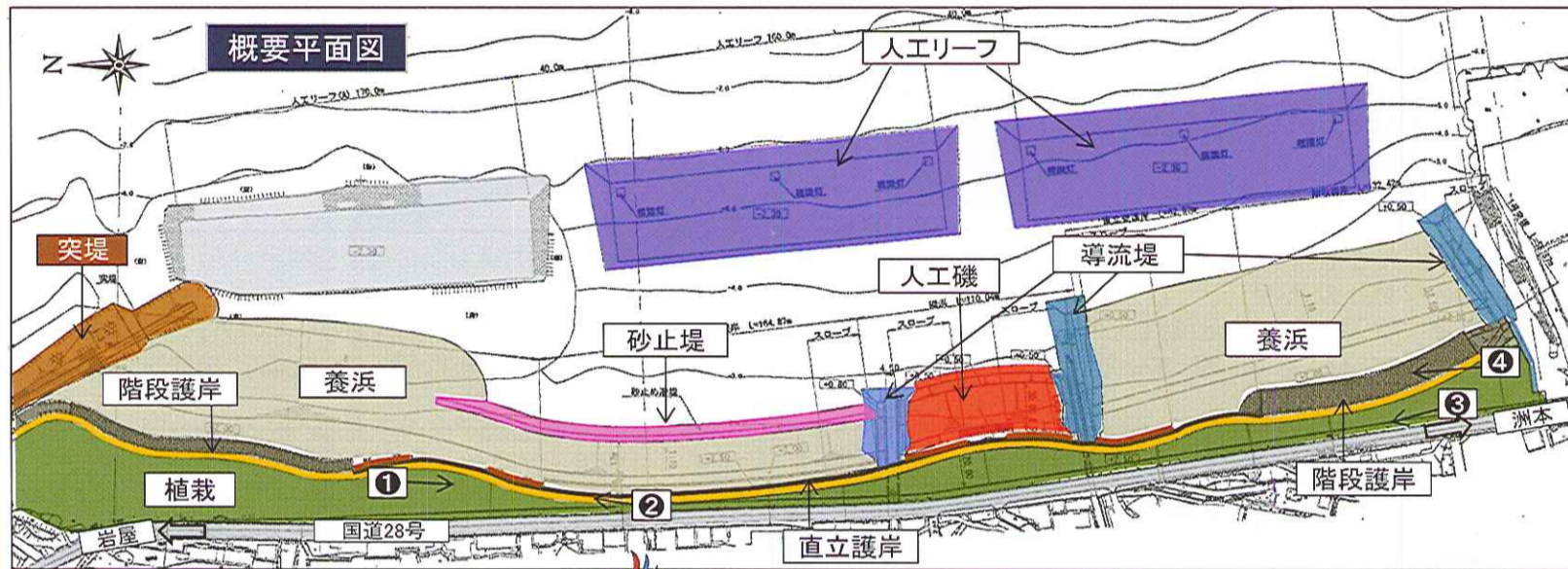
### マップ① 田之代海岸の「海岸環境整備事業」を紹介します。

田之代海岸は、明石海峡特有の潮流や台風時の波浪により、海浜部の面積が減少しているため、海岸侵食・越波の防止等、防災機能の強化が求められていました。また、平成12年度に「いきいき・海の子・浜づくり」実施地域に選定されたことにより、地元住民、行政、学識経験者で構成された「田ノ代海岸懇話会」を設置し、安全で利用しやすい海岸環境を創出し、自然体験学習、地域交流の場として利用が図られる海岸づくりを考慮した「田之代海岸整備計画」を策定しました。その整備計画に基づき、平成12年度から、人工リーフ、階段護岸、養浜、人工磯等の工事に着手し、平成29年度をもって完了しました。約17年間の長きに渡り、多くの関係機関の方のご協力に感謝申し上げます。

#### 【工事概要】

人工リーフ(潜堤) 2基 L=320m、突堤 1基、護岸 L=773m、養浜 51,000m<sup>3</sup>、砂止堤 220m、導流堤 3基、植栽 1式

※「いきいき・海の子・浜づくり」は、平成9年度に、文部科学省と海岸を所管している4省庁が連携し、交流の場、自然・社会教育活動の場、マリンスポーツの場として利用しやすい海岸づくりを行うことを目的に創設された事業。



気象庁が12月11日に「ラニーニャ現象が発生しているとみられる」と発表しました。ようするにこの冬は、とても寒くなると言うことです。寒さ対策や、インフルエンザに感染しないように、手洗い、マスク、咳エチケットを守って下さいね！

兵庫県マスコット  
はぼたん



『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。



## ■田之代海岸の「いきいき・海の子・浜づくり」事業としての利用状況を紹介します。

■自然環境学習  
自然石で造られた、人工磯の潮溜りの海藻や貝類を採取して学習する、石屋小学校の生徒達



■自然体験学習  
地元の小学生達による地引網



■海水浴場の利用者が増える  
田之代海岸は岩屋海水浴場として利用されており、京阪神からのアクセスも良い



■H29に完成したことを契機に、今までの取組をふりかえり今後の利活用について協議する座談会が、岩屋公民館で10月21日に開催された。





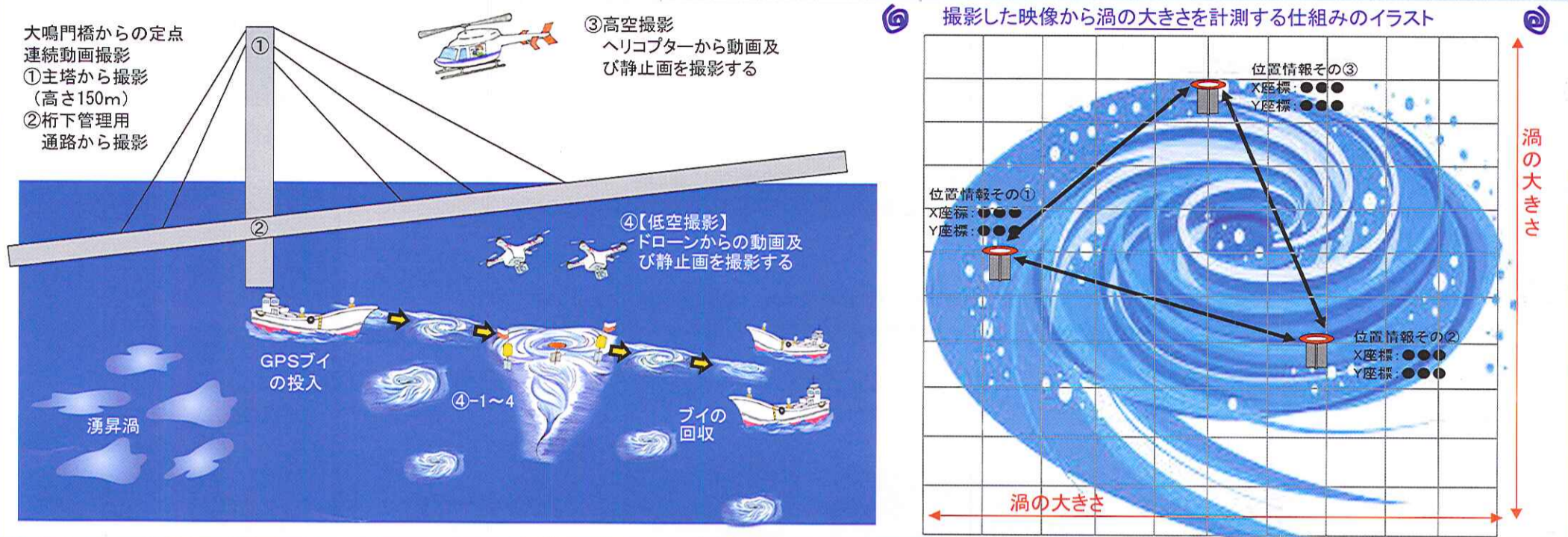
## マップ②

# 「鳴門海峡の渦潮」の世界自然遺産への登録を目指し本格的な調査始まる！

「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録に向けて普遍的価値を証明するため、渦潮(以後渦と言う)の大きさ、渦の流れの速さ、渦の発生メカニズム、渦の迫力や雄大さ等を調査しています。秋の大潮時11月7日(火)に午前7時50分頃(潮汐差150cm)と午後14時18分頃(潮汐差83cm)の2回に渡り、①主塔から②桁下管理用通路から動画撮影、③ヘリコプター1機を使用し高度約700m上空より渦潮の発生から消滅までの潮流(渦潮の動き)を動画・静止画で撮影、④ドローンによる高度100~150m上空より動画・静止画を、GPSブイ投入~回収の一連作業毎に撮影しました。以上の調査を来年(平成30年)の春の大潮時にも行う予定です。

また、来島海峡(愛媛県)、関門海峡(山口・福岡県)、西海橋(長崎県)でも①定点連続動画と②ヘリコプターで上空より渦潮の発生から消滅までの潮流(渦潮の動き)を動画・静止画で撮影し、鳴門海峡と国内の他の海峡と比較する基礎資料とします。

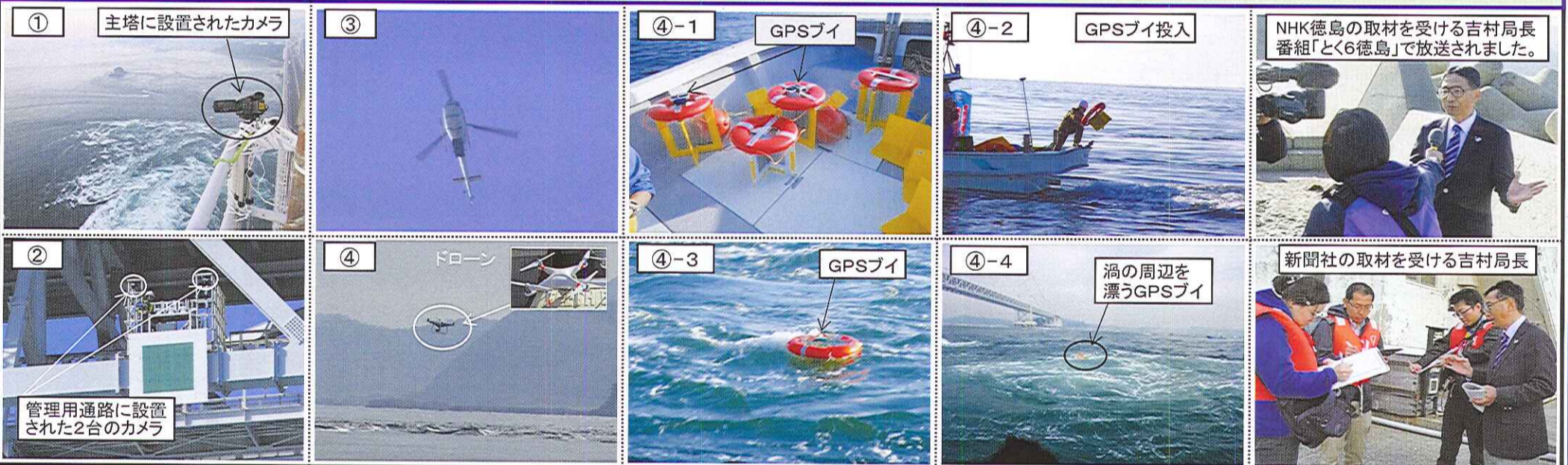
以上の調査結果をまとめて、次回の「世界遺産登録推進協議会総会」で報告することとしています。



1) 渦の流れの速さを測定: GPS(人工衛星を利用した位置情報計測システム)を取り付けたブイ(以後GPSブイと言う)を渦に投入し渦の速さを測定する。

移動距離(座標計算により算出)÷時間=渦のながれの速さ

2) 渦の大きさを計測: 複数のGPSブイを船から渦に投入し流す、別の船でそのブイを回収する。この一連の作業を繰り返し行い、その状況を①~④の方法にて動画及び静止画を撮影する。この撮影した映像に渦とGPSブイが同時に写っていることが必須条件である。GPSブイで得た位置情報を座標解析しGPS間の距離を算出し、映像から渦の大きさを計測する。(上記イラスト参照)



## マップ③

# 「土木の日」淡路県民局洲本土木事務所PRイベントを開催しました。

淡路県民局洲本土木事務所では、※1「土木の日」にちなみ、県立淡路佐野運動公園で11月19日(日)に、土木の仕事を紹介する、洲本土木PRイベントを開催しました。イベント内容の概要: ①洲本土木事務所が行っている主な事業をパネル展示、パンフレットの配布等で紹介する。

②(公益社団法人)土木学会附属土木図書館から借り受けた※2「迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて」、※3「未知への旅立ち-明石海峡大橋上部工-」の2本のビデオをテント内でDVDプレイヤーとモニター画面で放映し、土木の仕事が、社会基盤インフラ整備を担う重要なことを理解してもらう。

③土木を親しむイメージにと、各種クイズ(淡路博士に挑戦!、簡単な淡路島百景問題)や、子供達に人気の「はばタン」の着ぐるみで和やかなPRブースとしました。当日は、同時開催のイベントに参加された方や、その他多くの方が洲本土木PRブースを訪れ、土木の仕事に関心を持っていただきました。

※1「土木の日」: 「土」「木」の2文字を分解すると「十一」と「十八」になることから、土木学会の前身である「工学会」の創立が明治12年11月18日であることから、11月18日を「土木の日」と制定されています。また、11月18日から24日までを「くらしと土木の週間」とよんでいます。 ※2「迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて」: 2011年3月11日東日本を襲った巨大地震を教訓に、南海トラフ巨大地震の概要及び備えの重要性を描いた内容になっています。 ※3「未知への旅立ち-明石海峡大橋上部工-」: 世界一の明石海峡大橋が完成に至るまでを、丁寧に説明されており鑑賞後、土木の仕事の雄大さに引き込まれ、土木に関わる仕事に興味を持ってもらうことを期待しています。





# 備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

【お問い合わせ先】  
淡路県民局洲本土木事務所 企画調整担当へ  
〒656-0021  
洲本市塩屋2丁目4-5  
TEL: 0799-26-2055 FAX: 0799-24-4513  
URL: <http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html>  
e-mail: [sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp](mailto:sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp)

発行:平成30(2018)年3月25日

2018

vol.46

## 津波防災インフラ整備計画の推進 ~巨大津波に備えた 防災・減災対策~

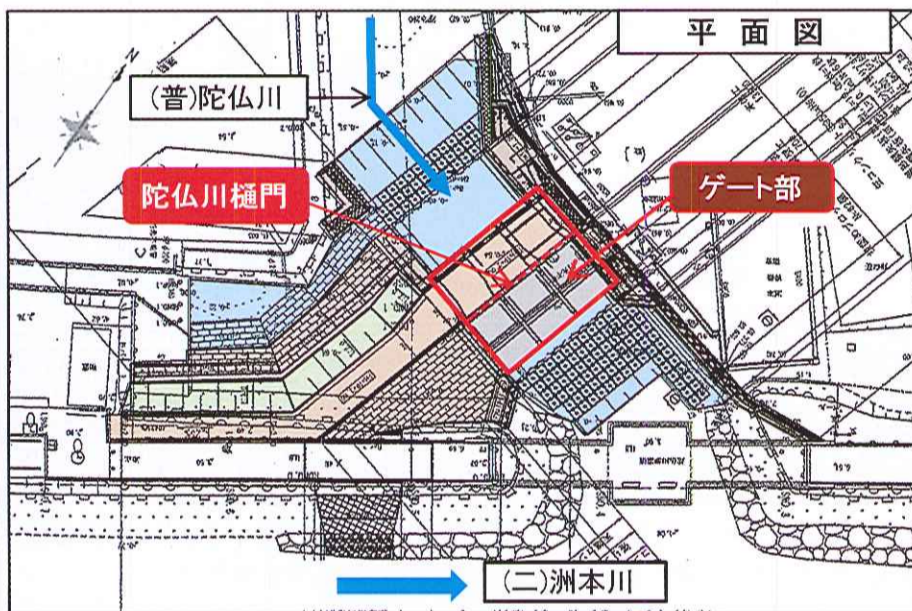
### マップ① (二) 洲本川 地震・高潮対策河川事業を紹介します。

淡路島は、南海トラフ巨大地震に伴い発生が予想される最大クラスの津波の最前線にあり、県下でも津波の到達時間が最も早く津波水位も最大となります。そのため、迅速かつ的確な対応が求められることから「津波防災インフラ整備計画」に基づき効果的かつ効率的な津波対策を計画的に行っています。

今回紹介する(二)洲本川 地震・高潮対策河川事業は、陀仏川との合流部に新たに「陀仏川樋門」を設けることで、①南海トラフ地震発生時に洲本川を遡上する津波及び②台風時の高潮に対する、炬口地区一帯の安全性を高めるものです。

当事業場所は、洲本川堤防のウォーキングコースにもなっているため、通行に支障のないよう工事を進めています。工事の都合上、一時的に通行出来なくなるときには、ご協力をお願いします。平成31年3月末の完成を目指しています。

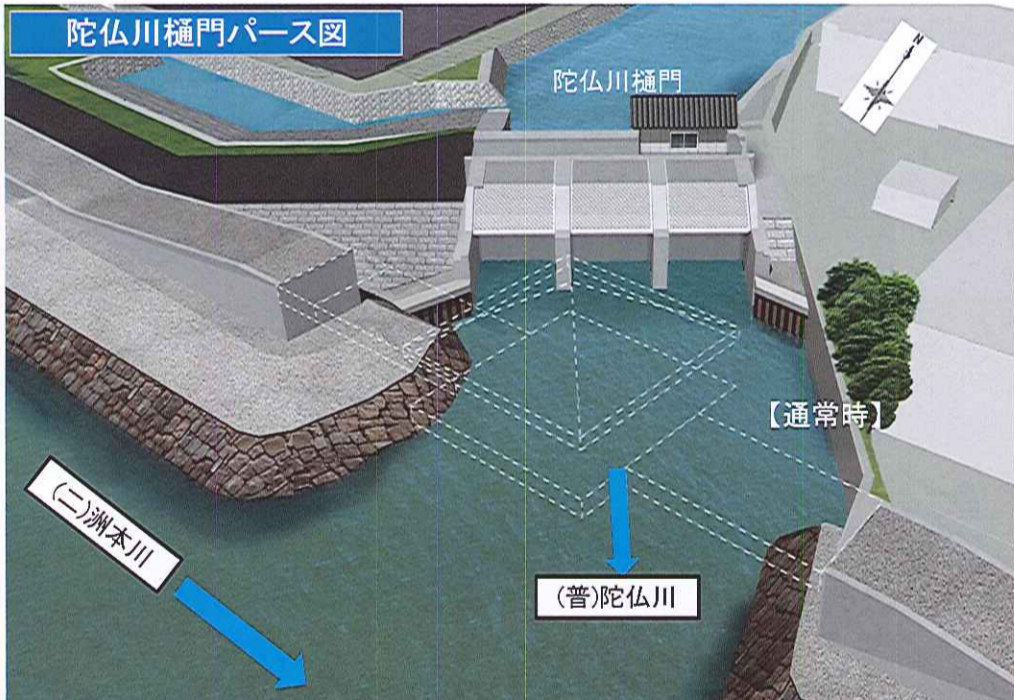
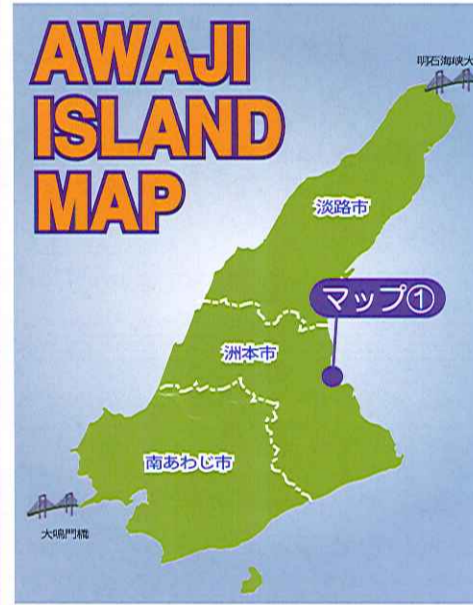
- 全体事業
  - 事業期間：平成28年度～平成30年度
  - 事業費：約420百万円
  - 事業内容：樋門整備 1式
- 炬口地区(洲本地区内)の津波の基本方針
  - レベル1津波を防潮堤・樋門で防ぎ、レベル2津波は防潮堤・樋門の対策により浸水被害を軽減
  - レベル1津波水位: TP+2.0m(樋門位置: TP+1.91m) レベル2津波水位: TP+2.8m
- 整備目標
  - レベル1津波 防潮堤・樋門で津波の越流を防ぐ。
  - レベル2津波 浸水被害を軽減



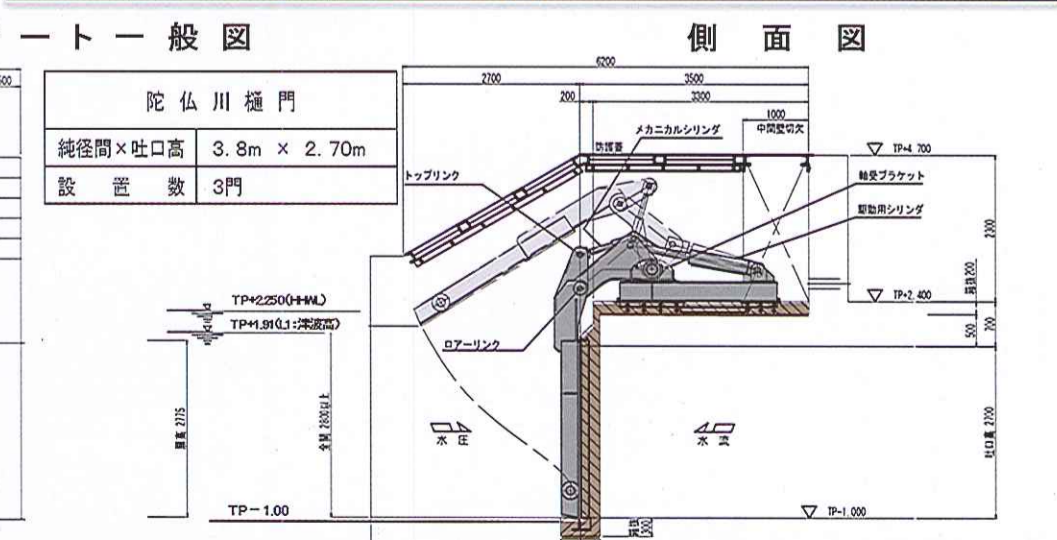
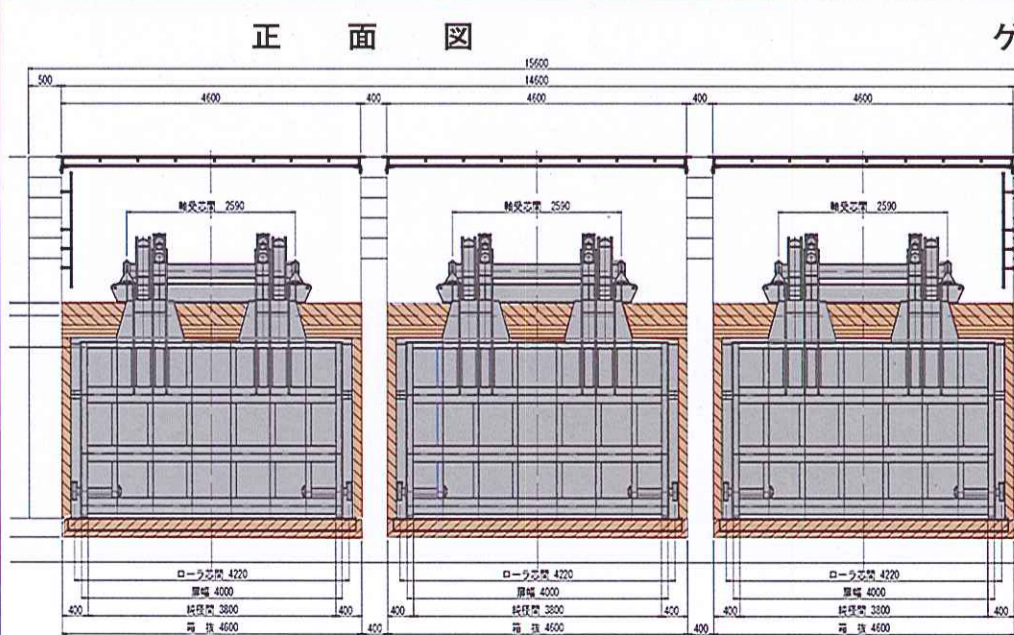
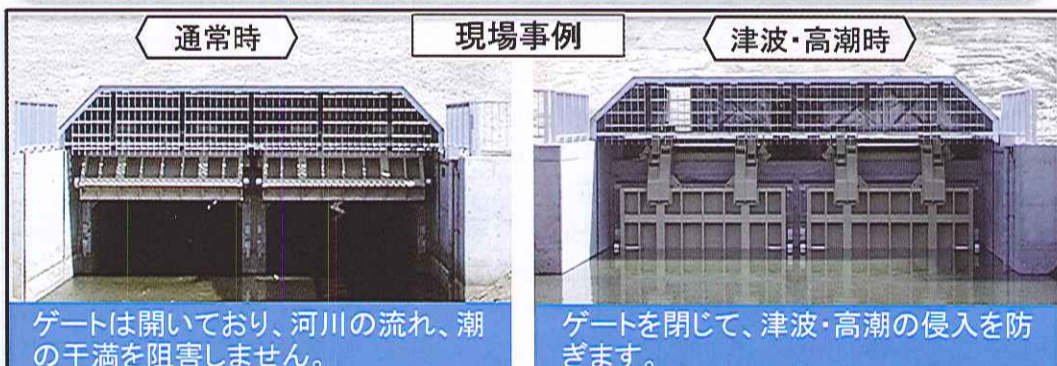
この4月1日から閉校となり新しい小学校に通学することになった皆さん、新しい気持ちで、たくさんのお友達をつかって、楽しい毎日を送ってね！  
また、校名が変わった皆さん、これから新しい歴史を皆さんでつって下さいね！

**兵庫県マスコット はぼたん**  
閉校  
育波小学校 → 北淡小学校に統合  
校名変更  
生穂小学校 → 津名東小学校  
柳学園中・高等学校 → 蒼開中・高等学校

『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。



**当現場では門柱レス油圧リンク式ゲートを採用しています。**  
(特徴)  
○ゲートを開閉するための門柱、戸溝が不要  
○油圧シリンダーとリンクにより、回転方向の押付力により確実な水密性を確保  
○非常時のバックアップ機能  
フラップ開放機能による自動開放動作  
〔ゲートを閉めた状態で機械故障等により操作不能となった場合でも、内水: 陀仏川と外水: 洲本川に水位差が生じるとゲートが自動的に開きます。〕



問い合わせ先: 淡路県民局 洲本土木事務所 河川砂防課  
TEL: 0799-26-3214 FAX: 0799-24-4533



# 「続・俳句で詠む淡路島百景」を発刊しました！ ～淡路島景観づくり運動の推進～

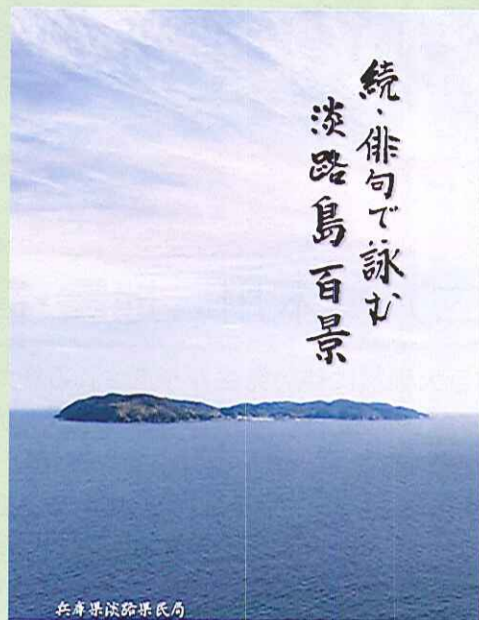
俳句により淡路島の景観の魅力を紹介する冊子「俳句で詠む淡路島百景」(平成27年3月)の続編「続・俳句で詠む淡路島百景」を発刊しました。

「淡路島百景」のうち、「俳句で詠む淡路島百景」(前冊子)で詠まれていない49の景観についての俳句を掲載しており、百景全ての景観を俳句により紹介することができました。

この冊子を通じて、淡路島の景観に対する意識を深め、淡路島の魅力の再認識を図るとともに、景観保全に対する意識向上の推進に取り組みます。



冊子に収録されている俳句は、2017年6月から9月まで間、一般公募により俳句を募集し応募作品数512句(応募者数:352人)から掲載句を選定しました。ご協力ありがとうございました。



続・俳句で詠む  
淡路島百景

## 選者

大星たかし(かつらぎ特別同人)  
高田 菲路(ホトギス同人)  
中山 のぶ(郭公同人)  
正井 良徳(淡路風土俳句会代表)  
三根 香南(若葉同人)  
稲山 忠利(南淡七曜俳句会代表)

## 掲載内容

- ・「淡路島百景」の概要(百景一覧、淡路島百景位置図等)
- ・49景観の紹介(最優秀句、選者講評、景観解説、写真等)
- ・優秀作品 計48句(一般の部:27句、小中学生の部:21句)
- ・コラム(淡路文化協会 正井良徳会長、木下圭子編集長 他1名)
- ・特別投句 8句(井戸知事、浜田県会議員、稲畑汀子ホトギス名誉主宰 他5名)

## 配布(無料)

島内観光案内所、主要観光施設、バスターミナルなど

## お問い合わせ先

淡路県民局洲本土木事務所 まちづくり建築課  
TEL:0799-26-3248 FAX:0799-24-4513

## ホームページ

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/aw11/keikan.html>



3月22日に表彰式が淡路県民局でおこなわれました。

淡路島百景  
秋晴の  
島の灯台  
の笛  
清水富子 兵庫県神戸市兵庫区



景観解説  
「塔」に立ち、無数の船舶を導いた白い塔。その塔は、灯を基とした今も「威風」という光を放っている。麓から海を望めば、この「百景の景」を目にすることができる。

# 淡路島総合公共交通情報誌「あわじ足ナビ」おしらせ！ 淡路島総合公共交通情報誌「あわじ足ナビ」について

淡路島の公共交通(高速バス、路線バス、3市コミュニティバス、旅客船)の時刻表等を一冊にまとめた淡路島総合公共交通情報誌「あわじ足ナビ」を(平成30年4月現在)の情報に改訂し、4月1日より発行予定となりますので、おしらせします。

「あわじ足ナビ」は、平成26年8月に発行以来、この度で5回目の発行となります。

今年は兵庫県政150周年を記念し兵庫五国の一つである淡路島、また、日本遺産認定の「国生み神話」の淡路島へ、神戸淡路鳴門自動車道開通20周年の明石海峡大橋を渡って、公共交通で淡路島めぐりを楽しんで下さい。

- ①冊子名：淡路島総合公共交通情報誌「あわじ足ナビ」(2018年4月1日) 様式：本冊→A4判サイズ44ページ、路線・観光マップ図→A2
- ②配布場所：(一社)淡路島観光協会の各案内所、淡路県民局、洲本市役所、南あわじ市役所、淡路市役所の案内窓口、淡路交通(株)、本四海峡バス(株)の乗車券販売所・神姫バス(株)三ノ宮ターミナル、姫路ターミナル・ミント神戸三宮バスターミナル、高速舞子バス停・淡路市明石港観光案内所他

問い合わせ先  
一般社団法人淡路島観光協会(事務局)  
TEL:0799-25-5820 FAX:0799-25-5821 URL:<http://www.awajishima-kanko.jp>  
兵庫県淡路県民局 洲本土木事務所  
TEL:0799-26-3221 FAX:0799-24-4513 URL:<https://web.pref.hyogo.lg.jp/awk11/ashinabi.html>



# ■1.17を忘れない！「阪神・淡路大震災から23年目の追悼行事」が淡路市等で行われました。

阪神・淡路大震災から23年目を迎え、今年も1月17日に「北淡震災記念公園」で追悼式典が行われ、公園内の人工池に淡路島の犠牲数と同じ63個の竹灯籠を浮かべ、地震が起きた午前5時46分に黙祷をささげました。また、淡路県民局長が震災24年目への新たな誓い(ひょうご安全の日宣言)を行いました。



(ひょうご安全の日宣言)を行う、淡路県民局長

## 「ひょうご安全の日宣言」

阪神・淡路大震災から23年経(た)った 私たちは国内だけでなく 世界の多くの人たちにも この震災の  
教訓を知ってもらいたい 活(い)かしてもらいたい そのように願って 伝え続けてきた  
7年前の2011年に 東日本大震災が起こり 2年前の2016年に 熊本地震が発生し その度ごとに 阪  
神・淡路大震災の教訓を もっと活かしてほしいと ずっと願ってきた  
地球の温暖化は さらに進み 梅雨前線や秋雨前線が とても不安定になり 線状降水帯も形成され 経  
験したことのない大雨が降り それに台風も加わって 風水害もさらに脅威となってきた  
アメリカ合衆国では ハリケーン・ハービーが来襲し それに続いて ハリケーン・イルマも上陸して 歴史上  
最大の26兆円の風水害被害をもたらした メキシコ イラン 韓国でも大きな地震災害が起こるなど 災害は  
新たなステージに入ったのだ  
新たな災害に備えるには さらに対策を進めなければならない 他人事と考えた途端に 今度は自分たちが  
被災するのだ 日常防災を豊かにして 安全 安心社会に向かうのだ  
伝える 備える 活かす 阪神・淡路大震災の教訓を 震災の教訓は すべての災害に通じる知恵だから  
2018年1月17日 ひょうご安全の日推進県民会議

## ひょうご安全の日とは

兵庫県では、「防災減災推進条例」(平成17年4月1日施行)に基づき、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承するとともに、いつまでも忘れることなく、安全で安心な社会づくりを期する日として、1月17日を「ひょうご安全の日」と定め、県民の参画のもと、「ひょうご安全の日」にふさわしいさまざまな事業に取り組んでいます。